

美しい海、かけがえのない島に  
ずっと住み続けたい

# 特集 千年先の、未来へ。

## 工

コアイランド、という言葉から何を想像しますか？

宮古島市は、いつまでも住み続けられる豊かな島づくりを実現するために、「エコアイランド宮古島宣言2.0」を平成30年より新たに策定しています。

島の自然を守り、いつまでも住み続けられる、そしてみなさんに愛される豊かな島にしたい、という願いを込めた標語が「千年先の、未来へ。」  
千年後もこの島に住む為に私たちに出来ることは何か。今月のテーマは「エコ」です。

### エコアイランド宮古島宣言 2.0 「千年先の、未来へ。」

- ① 私たち市民は、島の生活を支えるかけがえのない地下水を守ります。
- ② 私たち市民は、美しい珊瑚礁を守ります。
- ③ 私たち市民は、みんなの知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします。
- ④ 私たち市民は、ゴミのない、地球にやさしい美(か)ぎ島(すま)宮古(みやこ)島(すま)を目指し、一人ひとり行動します。
- ⑤ 私たち市民は、緑・海・空を守り、すべての生物が共に生きていける環境づくりのため行動します。
- ⑥ 私たち市民は、よりよい地球環境を取り戻し・守るため、世界の人人々とともに考え・行動し、未来へバトンタッチします。

エコアイランド宮古島宣言2.0は、前回のエコアイランド宣言から10年が経過したことを節目とし、未来を見据えた新たなビジョンとして発表しました。今後は市民の皆様のご意見等を参考にしながら、具体的な目標値を設定していきます。

### 【指標案】

地下水水質・窒素濃度 (硝酸性窒素濃度) 基準年：平成28年 4.71mg/L 2030年目標：4.33mg/L 2050年目標：2.02mg/L	1人1日あたり 家庭系ゴミ排出量 基準年：平成28年 542g/人・日 2030年目標：488g/人・日(10%減) 2050年目標：434g/人・日(20%減)	エネルギー自給率 基準年：平成27年 2.99% 2030年目標：12.90% 2050年目標：31.90%
サンゴ礁被度 ハマサンゴ優先群集：40%以上(維持) ミドリイシ優占群集：現状)5~10% 2030年目標：70%以上	固有種の保全 外来種の駆除等 現在、検討中	※ここで示した値は、現時点での目標案です。平成31年3月に決定します。

## この島の緑は、

## 自分たちで守る。



かすま 美ぎ島宮古グリーンネットの皆様が整備した防風林は、整備後も長期間に渡り樹木が枯れることなく機能しています。そこには人の知恵がありました。『木は人の力で太らせることができる』という力強い言葉と共に今日も宮古島の緑を守るために活動しています。

①宮古森林組合の皆さん。組合内に設立したボランティア団体『美ぎ島宮古グリーンネット』では、防風林の整備事業を主に、農地・地下水・島の景観を守る活動を行っている。②③10月24日に美ぎ島宮古グリーンネットによる育林活動が実施された。樹木の間で生えている雑草を刈り取ることで、立派な防風林として生長する手助けをすることが目的。育林活動には、高齢の方から若い女性まで沢山の方が参加した。慣れない鎌を片手に、長く伸びた雑草と悪戦苦闘する姿も。林にはペットボトルや空き缶などのゴミもたくさん捨てられている為、ゴミ拾いも同時に行う。蒸し暑い中で汗をかきながらがんばっている参加者の顔には爽やかな笑顔が見られた。④清掃後の防風林。雑草が取り払われたことで、防風林としてしっかり生長するだけでなく、道路沿いの景観も見違えるほど綺麗に。



緑を守りませんか？  
年会費2,000円で、美ぎ島宮古グリーンネットの一員として、緑を守る活動を支援することができます。あなたの力で宮古島の緑を守りませんか！詳しくは下記までお問い合わせください。  
美ぎ島宮古グリーンネット  
☎73-8191  
FAX73-8432

## 平

成15年に発生した台風14号が、宮古島の農作物やビニールハウスに大きな被害を与えた中で、他と比べて被害の少なかったのが防風林が設置されていた場所です。これを受けて防風林の重要性が見直され、平成17年7月にボランティア団体「美ぎ島宮古グリーンネット」が立ち上げられます。現在は、宮古島の緑地率を増やし、農地・地下水・景観を守ることを目的に、年4~5回の育林や植林活動を行っています。  
宮古森林組合の佐和田勝彦常務理事は、「樹木は手をかければかけるほど生長します。この活動が続くことで、成林した林帯が増え、島の財産である緑も増えていきます。《植える・育てる・ふれあう》活動をとおして、美ぎ島宮古づくりをしていきますましよう。」と市民の皆さんの参加・協力を呼びかけています。